丹波篠山市立多紀小学校　学習や生活に関する学力向上プラン

秋風が心地よい季節になりました。保護者の皆様におかれましては、益々のご健勝にてお過ごしのこととお喜び申しあげます。日頃は、本校教育の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、１学期に高学年対象に行いました丹波篠山市学力・生活習慣状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果を分析し、まとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対してご支援いただければありがたく思います。

【令和８年度丹波篠山市学力・生活習慣状況調査及び全国学力・学習状況調査結果の概要】

全体的な状況

・５年生の市学力調査（国語・算数）、６年生の全国学力・学習状況調査（国語・算数）の結果では、両学年とも全国平均を上回る部分と下回る部分が見られました。
５年生では、算数の「億と兆・がい数の表し方」、国語の「漢字を読む」などの部分において、全国平均を上回る結果となり、基礎的・基本的な知識や技能の定着が見られました。
６年生では、算数の「数と計算」、国語の「書くこと」の内容において、全国平均を上回り、既習事項を活用して考えたり、考えを文章で表現したりする力が身に付いていることがうかがえました。

・生活習慣状況調査におきましては、「学校のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」という質問において、全国平均を上回る結果となりました。ご家庭で学校生活や学習について日頃から温かく会話をしていただいている様子がうかがえます。学校と家庭とのつながりが、子どもたちの安心感や意欲の向上につながっているものと考えています。今後も、ご家庭との連携を大切にしながら、子どもたちが安心して学び、自ら学ぶ意欲を高められるよう教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、学校での出来事や学習について話題にしていただき、子どもたちの成長をともに支えていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

課題と対応

【国語】　情報の扱い方に関する力の育成

・国語では、文章や資料から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を整理・比較しながら適切に活用することに改善が必要な点が見られました。
本校では、この結果を踏まえ、目的に応じて必要な情報を選び、整理する学習活動を充実させるとともに、文章や図表、グラフなど複数の資料を比較・関連付けて考える授業を推進してまいります。また、情報の根拠を明確にしながら自分の考えをまとめたり伝えたりする活動を各教科で取り入れ、情報を適切に活用する力の育成に努めてまいります。

【算数】　割合の理解と活用

・算数では、「割合」に関する問題において改善が必要な点が見られました。特に、問題文から数量の関係を正しく読み取り、割合を用いて考えたり、その考え方や求めた結果を日常生活の場面と結び付けて説明したりする力に課題があることが分かりました。本校では、この結果を踏まえ、図や表、数直線などを活用して数量の関係を視覚的に捉えられる授業を行うとともに、児童同士が考え方を伝え合い、説明し合う学習活動を一層充実させてまいります。

【学習・生活習慣】　読書週間の充実

・生活習慣状況調査では、「一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問において、「全くしない」と回答した児童が 38.5%でした。読書は、語彙を豊かにしたり、文章を読み取る力を高めたりするだけでなく、想像力や考える力を育む上でも大切な活動です。今回の結果から、読書に親しむ時間をさらに増やしていくことが課題であると捉えています。
本校では、児童が興味・関心をもてる本との出会いを大切にする取組を進め、読書の楽しさを感じられる環境づくりに努めてまいります。また、ご家庭でも、テレビやゲーム、インターネットなどの時間とのバランスを考えながら、読書を話題にしたり、一緒に本に親しんだりする機会をつくっていただければと思います。